

# 豊水

Shizuoka Deep Seawater ARC NEWS

Vol.30

静岡県水産技術研究所

駿河湾深層水水産利用施設

Suruga-Bay Deep Seawater Aquaculture Research Center

of Shizuoka Prefectural Research Institute of Fishery

## 平成23年度研究スタッフ紹介

今年度の異動では、松浦主任研究員が水産振興課へ転出し、代わりに小澤研究員が水産振興課から転入しました。また、武田非常勤嘱託員が退職され、新たに高橋非常勤嘱託員が採用されました。平成23年度のスタッフは次のとおりです。

科長	吉川 昌之
上席研究員	吉川 康夫
上席研究員	野田 浩之
研究員	小澤 豊
技能長	窪田 久
非常勤嘱託員	高橋 賢
非常勤嘱託員	豊島 やよい

## 平成23年度研究課題について

今年度は新規2課題と継続1課題の研究を推進していきます。

### \*深層仕立てブランド魚介類開発研究<新規>

- ① 駿河湾深層水の低温性と清浄性を活用して、サケ科魚類の養殖技術を開発します。
- ② 冬期が旬であるカキを、旬の品質を落とすことなく夏まで蓄養する技術を開発します。
- ③ 漁期後半に漁獲されたシラスウナギを、その状態のまま秋まで維持し、秋から養成を開始することが可能となる技術を開発します。
- ④ 深層水を繰返し生物の飼育に用いる多段飼育システムを開発します。

### \* 深層水を効率的に活用したナマコ養殖技術研究<新規>

駿河湾深層水の低温性と清浄性を活用して、ナマコの効率的な養殖技術を開発します。

### \*サガラム・カジメ増養殖の効率化研究<継続>

サガラム・カジメの簡易移植方法の開発と種苗生産の簡略化による増養殖事業の効率化を図ります。

## 駿河湾深層水の研究成果を紹介

### 第2回を開催

2月16日に、深層水ミュージアム研修室において「駿河湾深層水研究成果等の御紹介の集い」を開催し、研究成果や今後の研究計画の御紹介と深層水関係者の皆様との意見交換をおこないました。発表次第は次のとおりです。

- 1) 「駿河湾深層水研究の概要」
- 2) 「アカザエビ蓄養の生物学的側面」
- 3) 「LED光を利用したサガラム培養試験」
- 4) 「深層水で養殖したサガラムを用いたお茶漬け“とろとろ飯”の紹介」
- 5) 「有用珪藻 *Rhaphoneis criniger* の栄養要求」
- 6) 「野菜加熱処理における駿河湾深層水の利用効果」
- 7) 「駿河湾深層水の魚油に対する酸化抑制効果と健康機能性」

今回は、第1回から参加していただいている焼津市役所、焼津漁業協同組合、小川漁業協同組合、焼津商工会議所、駿河湾深層水利用者協議会の皆様に加え、深層水を使用した商品を製造販売している事業者の方々も多数参加していただき、活発な質疑と意見交換を行いました。いただいたご意見は今後の研究に役立てて行きたいと思っております。



会場内の様子